

竹の水鉄砲

場所	クラフト室 実習室		
時間	1時間30分～2時間		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	各部屋 席数48
準備物	【利用者】ぞうきん、新聞紙、救急用品 活動に適した服装、ポスカ 【自然の家】材料（竹2種類、輪ゴム、ウエス、スポンジ）、万力、キリ、ハサミ、バケツ、針金		

プログラムの概要・ねらい

身近な自然の素材である竹を使った水鉄砲を作る。ノコギリの使い方を覚え、自分だけのオリジナル作品を作ることで、創意工夫する喜びを体験する。また、竹の水鉄砲での昔遊びも体験することができる。

①準備

材料とクラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付にて受け取る。※材料数を確認する。窓を開け、部屋の換気を十分に行う。工具の確認をする。

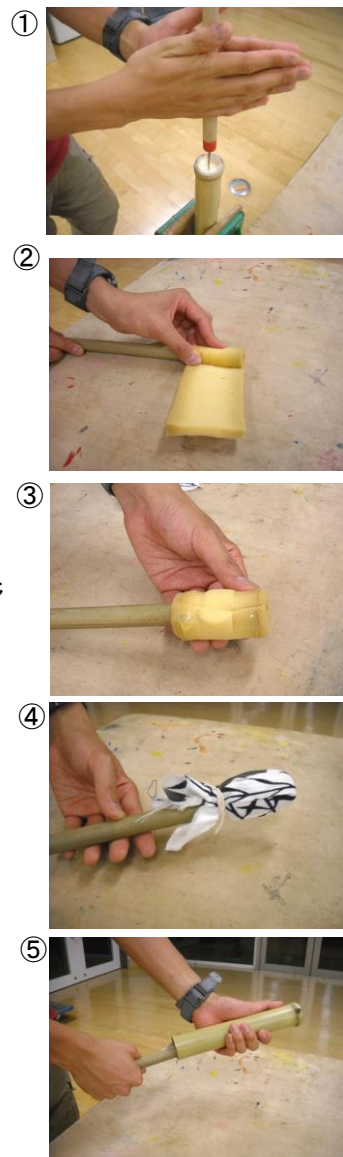
②実施の流れ

【時間】

- 0:00 作り方の説明
- 0:10 本体用の太い竹を縦に万力で挟み、節の中央にキリで1箇所穴を開ける。
(写真①)
- 0:30 ピストン用の細い竹にスポンジを巻き付ける。(写真②)
 - ・スポンジを引っ張りながら巻き付ける。
 - ・本体の竹の筒にさして、ピッタリになるくらいまでスポンジを巻き、余った部分は切る。
 - ・スポンジを輪ゴムで固定する。(写真③)
 - ・スポンジを巻いたピストン用の竹に上からウエスをかぶせ、輪ゴムを巻きつけて固定する。(写真④)

※輪ゴムの結び目は、ウエスの一番下にとするとよい。
- 0:50 バケツに水を入れて水の出具合を確認する。(写真⑤)
 - ※水が漏れたり、ピストン用の竹が入らなかったりする場合には、スポンジの巻き具合を調整していく。
 - ※スポンジが竹筒の中で取れてしまう場合があるので気を付ける。
 - 取れてしまった時は、針金でつついて取り出すようにする。

ポスカで絵や文字を書いてもよい。
※ポスカを使用する場合は、机の上に新聞紙を敷く。
- 1:20 片付け
- 1:30 終了
 - ・作成後、野外活動ゾーンや自然環境学習センター中庭やピロティーで、遊ぶこともできる。



竹の水鉄砲 その2

②実施の流れ(つづき)

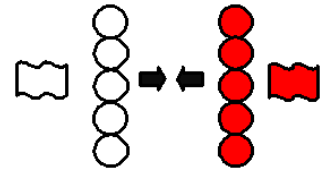
【作った竹の水鉄砲活用方法例】

自然環境学習センター中庭・ピロティー・野外活動ゾーンなどを使い竹の水鉄砲で遊ぶこともできる。

<フラッグ戦>

[ルール]

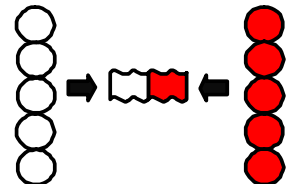
- ・2つのチームに分かれて、それぞれの陣地にフラッグ（目印）を立てます。
勝利条件：相手チームのフラッグを獲得・敵チームの全滅
敗北条件：敵にフラッグを取られる・チームの全滅
- ・水がかかったら大きな声で「ヒット」言い、フィールドから出る。（自己申告）
※移動の際には、他の人の邪魔をしないようすみやかに移動する。
- ・水がかかっているのに、ゲームを続行することは禁止。



<センターフラッグ戦>

[ルール]

- ・2つのチームに分かれて、フィールドの中央に缶フラッグ（目印）を横にして置く。
スタートの合図で両チームは、中央の缶フラッグを自陣の色が上になるように立てる。
制限時間内に、より多くの缶フラッグを自陣の色にしたチームの勝利。
※勝利条件：制限時間内に、より多くの缶フラッグを自陣の色にする。
- ・制限時間は、5～10分を目安に行う。必ず5～10分休憩をいれる。
- ・水がかかったら大きな声で「ヒット」宣言し自陣へ戻る。仲間とハイタッチで復活。
※仲間とハイタッチするまでは動けません
※他の人の邪魔にならないようすみやかに移動する。
- ・水がかかっているのに、ゲームを続行することは禁止。（ゾンビ行為）



③後片付け

工具等を元へ戻し、電動工具のコンセントを抜く。

ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。※机と床の水拭きを必ず行う。

（掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照）

工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ申し出る。

クラフト室の鍵、余った材料はサービスセンター受付へ返却する。